

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2008年度	開講年次	4年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	8
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	T全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
3年次までに講義、演習、実験で学んだ多くの専門知識をもとに、教員の指導下で研究テーマを設定し、文献調査や実験、理論的考察などを行い、その結果を口頭で発表し、論文をまとめる。与えられた学習でなく、自ら行う研究を体験することを目的とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
卒研着手条件を満足するだけの科目を履修しておくこと。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
卒研指導教員により異なるので、教員に相談すること。

<b>【教科書等】</b>
卒研指導教員により異なるので、教員に相談すること。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
卒研指導教員により異なるが、多くの研究室では次の通りである。 1. 研究分野の外書輪講、文献紹介、研究経過報告などの研究室内のゼミに出席し、該当分野の専門知識を身に付け、自らが行う卒業研究が当該研究分野でどのように位置づけられるかを認識できるようにする。また、ゼミにおける発表や討論を通して、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指す。 2. 指導教員と相談しながら、研究テーマについて、モデル化、定式化、プログラム作成、実験計画、分析・考察等を行い、研究成果を論文としてまとめる。この過程においては様々な課題を克服しなければならない。このような自ら研究を進めるといふ実践を通して、論理的記述力や専門的知識応用力のみなら

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

ず、問題解決能力も育む。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

1年間を通して卒業研究に真摯な態度で取り組み、指導教員との報告・連絡・相談をたやさず、実験、解析、ないし分析を行って論文としてまとめ、学科卒論発表会にて研究成果のプレゼンテーションができれば合格と判定する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

卒研指導教員により異なるので、教員に相談すること。

### 【学生へのメッセージ】

3年生までの授業や実験は教員が準備したものを修得するという面が多いのに比べ、卒業研究では能動的に学生諸君自らが課題にチャレンジしていく必要がある。このように記すと卒業研究が大変なことのように思う人もいるかもしれないが、実際に研究の開始当初は苦勞が多いのも事実であるが、壁を突破して研究が進みだすと楽しく充実したものとなるので、途中で投げ出さずに粘り強く挑戦して欲しい。

### 【その他】